

FORUM

このコーナーでは、本誌の記事内容に関する疑問・質問・突っ込み、あるいは読者の声などにお答えします。

薬害当事者の声をもっと知りたい

ふたつの原爆の日が過ぎていきました。被爆体験を聞くように、医療被害にあったひとりひとりの実体験に目を向け、耳を傾け、臨床研究のデータや臓器障害のメカニズムなどから考える薬害の成り立ちとを合わせれば、医療の全体像が見えてくると思います。そういう点で、連載中の「薬害は終わっていない」は、毎号、しっかり読んでいます。客観的データは重要でも、実社会での害は数字から感じ取ることは難しいです。当事者が害を話すのには大きなエネルギーを使うと思いますので、とても貴重な記事です。

123号の増山さんの話には身が引き締まります。125号の梅本さんの記事には戦慄を覚えました。医

療者は被害者を実際に診てもなかなか考えは変わらないのかもしれませんが。先入観が少なければ現場の声は問題意識を持つきっかけになります。医薬ビジランスセミナー（註）が復活できたらもっといいなと思います。

不安をあおることを目的とする週刊誌的記事ではなく、静かに伝える事実は読者の心を動かします。（内科開業医）

註：1997年に第1回、その後2008年の第6回まで開催した。2008年の医薬ビジランスシンポジウムが最後。人手も経費もかかり毎回赤字運営だったのでNPO法人にとって荷が重く、以後は開催していない。